

資料 2

太子町地域公共交通に関するワークショップ

太子町地域公共交通に関するワークショップ

【聖和台・磯長台地域 第2回】

1. ワークショップの開催概要

(1) ワークショップの目的

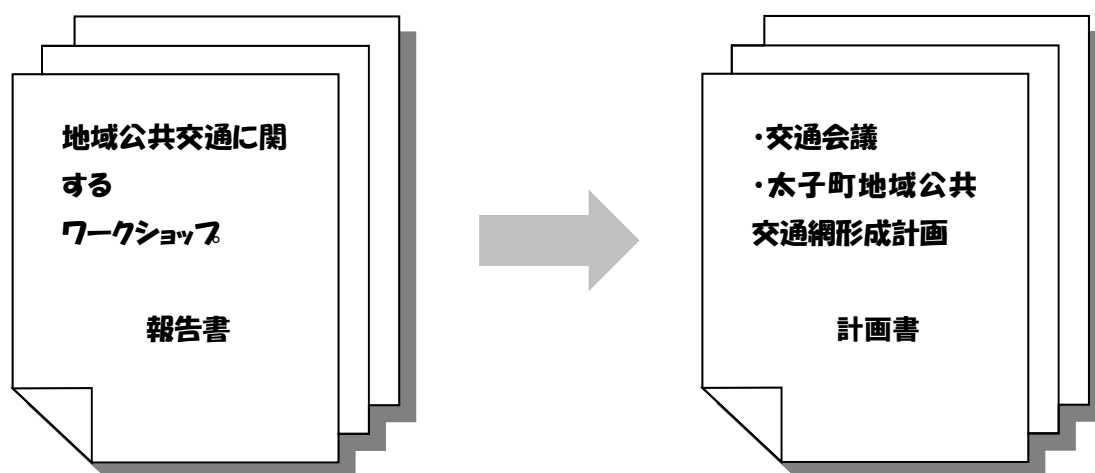
本町では、人口減少や高齢化が進む中で、自動車を移動手段として利用されている場合が多い状況である。このような状況の中、将来にわたって地域住民に利用される持続可能な地域公共交通の構築を図る必要がある。

この背景を踏まえ、昨年度、本町の今後の地域公共交通のあり方を示した「太子町地域公共交通基本計画」を策定した。この基本計画に基づき、今年度より、持続可能な地域公共交通の実現に向けて、より具体的な検討を行っていく。

持続可能な地域公共交通の実現にあたっては、住民、事業者、行政が協働で取り組んでいく必要がある。そこで、ワークショップは、公共交通空白・不便地域の住民が、自分たちが使う地域公共交通について学び、現況の問題点や課題、それらを解消するための対応策や取り組みなどについて話し合い、持続可能な公共交通の実現に向け、自分たちでできることを考える。

(2) ワークショップの役割

公共交通空白・不便地域において、住民が日頃から感じている移動に関する課題を解消するために、利用者の立場に立った具体的な解決方法や提案事項を検討していただく。本町の公共交通における課題や将来像について、話し合い、意見交換などを通じた意見を集約し、その内容について必要に応じ、太子町地域公共交通会議に反映していく。



まとめた報告書は、太子町地域公共交通会議ならびに本会議が作成する「太子町地域公共交通網形成計画」の内容に反映。

※なお、報告書がそのまま計画書になるものではない。

(3) ワークショップの開催日程

【聖和台・磯長台】

	開催日	参加人数	テーマ	内容
第1回	2018年 10月7日 (日)	64名	現況の課題と公共交通 の必要性	<ul style="list-style-type: none">・現在の公共交通について考えよう・どんな公共交通が欲しいのかを考えよう
第2回	2018年 11月23日 (金《祝》)	52名	運行にむけての具体的 な計画	<ul style="list-style-type: none">・実証運行に向けたルートを考えよう・公共交通を走らせる際の問題点がないか考えよう
第3回	2019年 1月頃 予定	-名	自分たちができること	<ul style="list-style-type: none">・前回議論したバスの運行計画についておさらい・実証運行の目標を決めよう・みんなに乗ってもらうため、自分たちができることを考えよう

2. ワークショップの結果

(1) 第2回ワークショップ【聖和台・磯長台】

①開催概要

日時	2018年11月23日（金） 午前の部 10：00～12：00 午後の部 14：00～16：00
参加者	52名
場所	万葉ホール
方法	午前、午後で5～6グループに分かれ、KJ法により、意見カードを模造紙に貼り、整理。最後に、模造紙を使って参加者全員で検討した内容をグループごとに発表しあう。

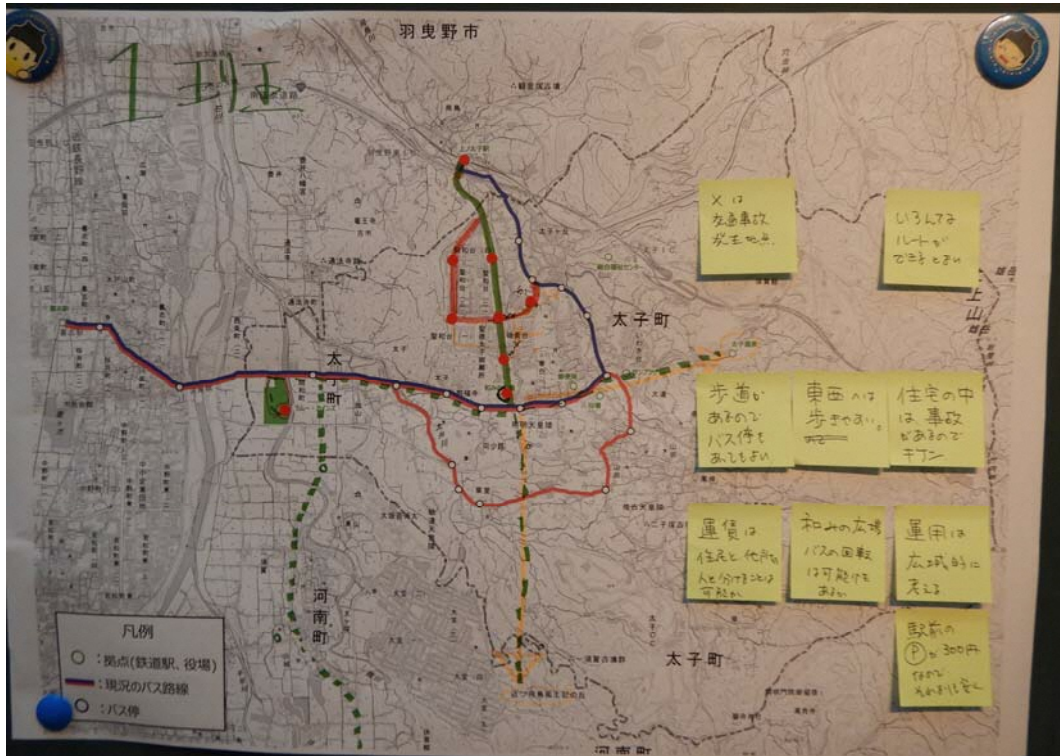
②次第

午前の部	午後の部	実施内容
10：00～	14：00～	【開会】 ・開会のあいさつ ・事務局スタッフの紹介 ・スケジュールについて説明
10：10～	14：10～	【前回のおさらいと今回のワークショップについて】 ・前回のワークショップのおさらい ・アンケート結果の報告 ・本日のワークショップの進め方について説明
10：20～	14：20～	【グループワーク】 ・グループごとに意見交換を実施 ・メンバーの自己紹介 ・『実証運行に向けたルートを考えよう』 第1回ワークショップの結果やアンケート結果も踏まえ、公共交通の種類、ルート、バス停などを地図に落とすなど議論します。 ・『公共交通を走らせる際の問題点がないか考えよう』 上記で考えたルートやバス停などについて、問題点がないか議論します。
11：20～	15：20～	【発表・共有】 ・各テーブルの結果を報告し共有（1グループ5分程度）
11：50～ ～12：00	15：50～ ～16：00	【閉会】 ・閉会のあいさつ ・次回ワークショップの案内

③ワークショップの結果

■1班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○バス停の数

中央線：4 聖和台・磯長台の中；2

○主な意見

- ・ 商業施設に乗り入れるバス停があればよい
- ・ 山田の方にも必要なルートはいると思う
- ・ 駅前のパーキングが300円なので、それより安くなければならない

など

○ルートについての意見、課題

カインズにのり入れるバス停がほしい
河南町と連携してバスのルートの充実
山田の方も必要なルートはいる
観光資源もむすぶルート
中央線はメインとしてサブルートをつくる
運賃は住民と他所の人と分けるのは可能か
歩道があるのでバス停もあってもよい
Xは交通事故発生地点
磯長台に入るルートは道が狭いのでいけない
坂道でないので東西へは歩きやすい。
和みの広場バスを回転できると思う
駅前のPが300円なのでそれよりも安く
運用は広域的に考える
住宅の中は事故があるのでキケン
いろんなルートができるとよい

■2班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○バス停の数

中央線：4 聖和台・磯長台の中；2

○主な意見

- ・朝夕のルートと昼間のルートをかえる
- ・町内の細かいルートは現在のデマンドバスのルートを活かせばどうか
- ・朝夕は20分毎、昼は40分毎

など

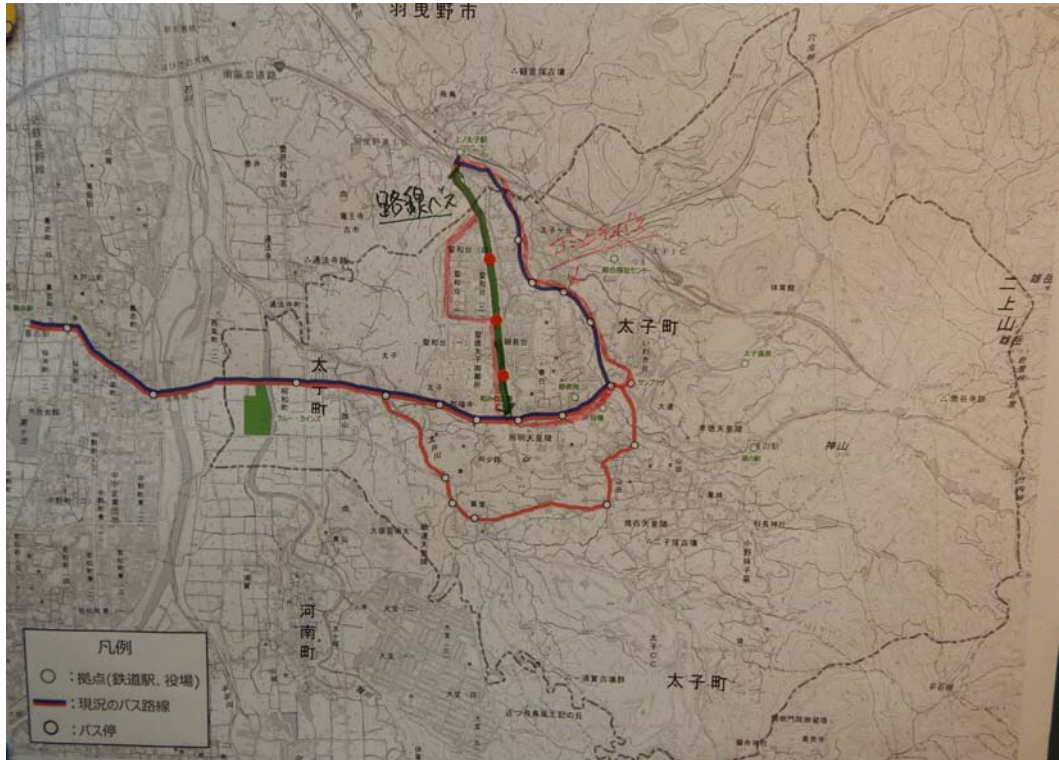
○ルートについての意見、課題

ダイヤルート	始発の時間？最終の時間？
	ダイヤは30分の一本は必要
	路線バスのダイヤ1Hに2本以上
	朝夕は20分毎、昼は40分毎
	公共交通20分くらい
	ダイヤ、朝、夕、通勤、通学、昼間、高齢者の移動時間
	朝夕のラッシュのダイヤとそれ以外の（昼間）のダイヤをかえる
	朝夕のダイヤは近鉄電車のダイヤに合わせた本数にする
	朝夕は近鉄（時間の発着）の時間にあわせ
	朝夕の通勤、通学の時間帯と昼間（買物、通院など）の時間帯はダイヤ、停留所も変える
	朝夕のルートと昼間のルートをかえる
乗合ワゴン、循環バス	予約型乗合ワゴンのルートを循環バスにする
	昼間は現行の予約型乗合ワゴンの停留所を尊重した方がいい。→予約型乗合ワゴンを生かす。
	町内の細かいルートは現在のデマンドバスのルートを生かしたら？
	予約型ワゴン循環型の定期便で補完
	循環型のルート
「予約型」の名前が悪い	

環境課題	公共バスが太子町内で駐停車が法的に可能か？
	路線、キメ細かい停留所の設置、道交法との整合性を計る
	通勤通学をしている人たちのニーズ（ダイヤや停留所等）をしっかりと把握して利用者として確保すること。
	バス停以外でも乗り降り可。
	バス停中央線の信号

■3班（午前部）の主な意見

○発表内容



○バス停の数

中央線：3

○主な意見

- ・ 路線バスを中央線に、コミュニティバスで周辺をフォローする。
- ・ 子供達の通学道の横断となるため交通安全の為の注意。学童の帰り等に交通安全が必要となる。
- ・ 車を動かす時にバスがとまると見通しが悪くなる。

など

○ルートについての意見、課題

バスルートについて

路線バスを中央線に走らせる +
コミュニティバスで周辺の方をフォローする。
バス停 3箇所
公共交通と路線バス両方で1時間に2~3回止まってほしい
電車の時間に合せた本数
できれば乗りやすいバス（大きくないバス、バリアフリー対応）

課題

金剛バスへの要望	金剛バス会社のルート変更折衝。特に問題点はない	→そこまで問題ではない？ とにかく走ってから。
通学の安全面	子供達の通学道の横断となるため交通安全の為の注意。学童の帰り等に交通安全が必要となる。	
車からの見通し	車を動かす時にバスがとまると見通しが悪くなる。	
バス停の位置	バス停のスペース。バス停前の問題。	

■4班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○バス停の数

中央線：4 聖和台・磯長台の中；2

○主な意見

- ・今の金剛バスが存続すること前提として考えている。
- ・路線バスを一番に考える。一回でも車をやめて利用する。
- ・コミュニティバスになれば、各地区の希望の最大公約数でまとめねばならないと思う。
- ・バスは大きくなければコミュニケーションできない。

など

○ルートについての意見、課題

協力して利用します	路線バスを一番に考える。一回でも車をやめて利用する。	→利用回数が少ないので赤字にならないのか。なくなってしまう
	公共交通（コミュニティバス）なればやはり各地区希望の最大公約数でまとめねばならないと思います。	
	運行を続けていける為にバスを利用して電車に乗って古市迄買い物に行く	
	現在は未だ徒歩で駅迄の行き帰りが出来ますが、早期公共交通を利用させて頂く事になります。	
	私は、今は月1~2回しか喜志の方へ出ないので皆さんの利用は？でもカインズ・ラムへ行くかも	
	カインズラムへなら月2・3回は行くと思う 役場へは毎週数回行く	
住環境	中央線は車も多いからバスが走っても問題なし	→走っても問題はない
バスのこと	バスは小さいので	
	大きければコミュニケーションできない	
	バスは乗りやすいノンステップ	
交通安全	子供の飛び出しは気をつける	
目的	駅へ行くことが必須（上ノ太子、喜志）	
	買い物は複数の店が選べる（サンブラ・ラム・カインズ）	
必須	今の金剛バスがあること前提	
	まずは中央線	
計画	乗車時間 30分	
	1時間に1本	
	土日走る	
	循環バス→上下で30分に1本になる	
その他	不便（聖和台1丁目）	
	磯長台は道が狭いのでバスは難しい	
	小さいバスなら走れる	

■5班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○バス停の数

中央線：5

○主な意見

- ・2パターンのルートがあってもよいのではないか。
- ・観光の面からすると道の駅まで行くとよい。
- ・中央線にバスが停まると乗用車が困るなどあるので、バス切り込みを整備

など

○ルートについての意見、課題

バリアフリー	ノンステップのバスを走らせてほしい	→誰でも乗れるバス
	小型バスでよい	
その他、太子町のための意見	利用者増すにはきめ細かいコースと駐車ヶ所	
	2パターンあっていい 観光の面からすると道の駅まで行くとよい。	
環境	磯長台の急な坂は排ガスが心配	→EV 環境にいいバス
バス停について	中央線にバスが停まると乗用車が困る（よけるところがない）	→バスきりこみ
	バス停に椅子、屋根欲しい	
	中央線では間隔をせばめたステーションでいくつも留まってほしい	
	信号の近い付近に停留所を。	
坂	急な坂なのであぶない（磯長台側中央線）	→ルート変更
	磯長、聖和台、さかい目の停車は危険だが・・・	
	坂の途中で危ないところがある（バス停の設置）	
ダイヤ	電車との接続がスムーズに	→合せてもらう
	上ノ太子駅発着の近鉄電車との連絡を考えて！	
	電車の時刻と合せてほしい	
その他	金剛バスとの折り合い	
	現況のバスのあいまに来てほしい	
	中央線の便数を増加する（1時間に1本ではなく）	
	聖和台3丁目、聖和台1丁目（お墓近く）は中央線まで遠い	
他の意見	太子町全域	
	2パターンあってもよい	
	土日祝も走らせて欲しい	
	時刻表は覚えやすい時間に、0、20、40、0	
	バスの運行、20分に1本	
	通勤、通学、時間帯は多い目に	
	20分に1本欲しい	
中央線の運行は20分に1本		

■6班（午前の部）の主な意見

○発表内容



○バス停の数

中央線：3

○主な意見

- ・ ルートを考える上では、買い物、通院を考慮することが大事。
- ・ 通勤通学時はダイヤを密にする。
- ・ バス停まで遠い人、歩けない人はデマンドバスなど細かく回ってくれるバスが必要。

など

○ルートについての意見、課題

バスルートを考える前提	買物と医者が大事	
	駅まで行きたい（上の太子駅）	
	200円までなら出せる。駐車料金（駅）と比較する。	
	PL教会に行くのに上ノ太子駅のったことない（バス）	
運行条件	磯長台は必要ない	
	駅までなら200円出せる	
	2本に1本はルートをかえる（東通りを通る）	
	通勤通学時間を密にする	
	2本/時	
	7時台は3本、8時台は2本、最後は8時くらい	
バスルート設定上の課題	バス停まで歩けない	→デマンドバスなら細かく回ってくれる
	バス停まで遠い	→歩きにくい人にとっては使いにくい
	ミニバスが良い（いつも人が少ないので）	
	裏の通りも回ってほしい	
	きめの細かいルートもほしい	→特に大きな問題はない